

福山市における若者の人口流出

福山市は全国でもトップクラスの人口流出都市であり、特に若者の流出が問題である。

人が出していく「転出超過」自治体ランキング

順位	都道府県名	自治体名	転出超過数(人)
1	東京都	新宿区	2,985
2	広島県	福山市	2,935
3	広島県	広島市	2,505
4	千葉県	成田市	2,478
5	愛知県	豊橋市	2,209
6	沖縄県	那覇市	2,111
7	岡山県	岡山市	2,021
8	兵庫県	神戸市	2,013
9	福岡県	北九州市	1,808
10	千葉県	富里市	1,795
11	長崎県	長崎市	1,794
12	千葉県	八街市	1,723
13	広島県	吳市	1,722
14	高知県	高知市	1,710
15	長崎県	佐世保市	1,694
16	愛知県	安城市	1,673
17	石川県	輪島市	1,577
18	京都府	京都市	1,455
19	愛知県	岡崎市	1,454
20	三重県	四日市市	1,353
21	愛知県	南知多町	1,267
22	山口県	下関市	1,265
23	大阪府	岬町	1,139
24	大分県	国東市	1,102
25	鹿児島県	鹿児島市	1,064

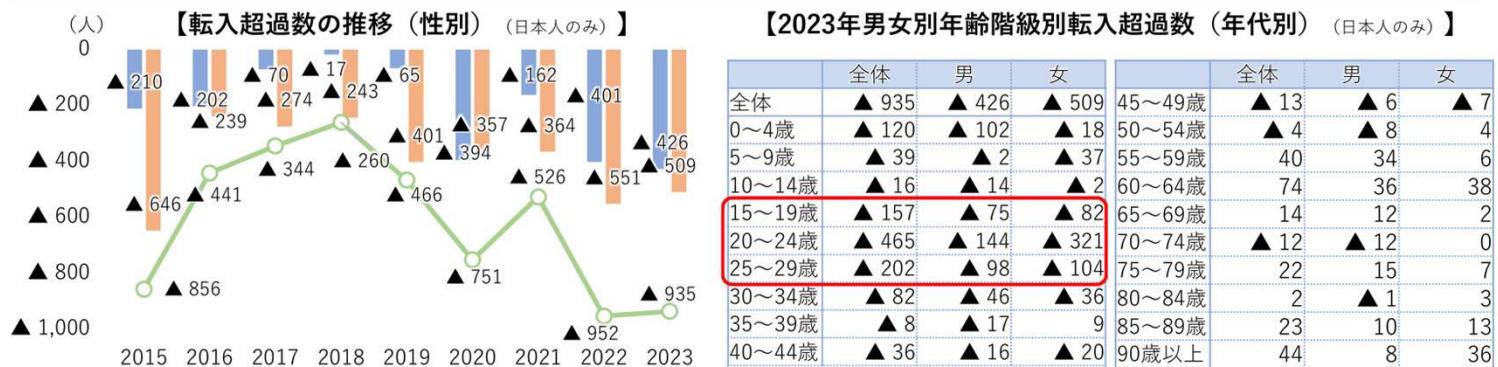
(注) 国内の市町村間移動のみ（国外との移動除外）。

期間は2024年1月1日～12月31日

(出所) 総務省「住民基本台帳人口移動法調（年報）」

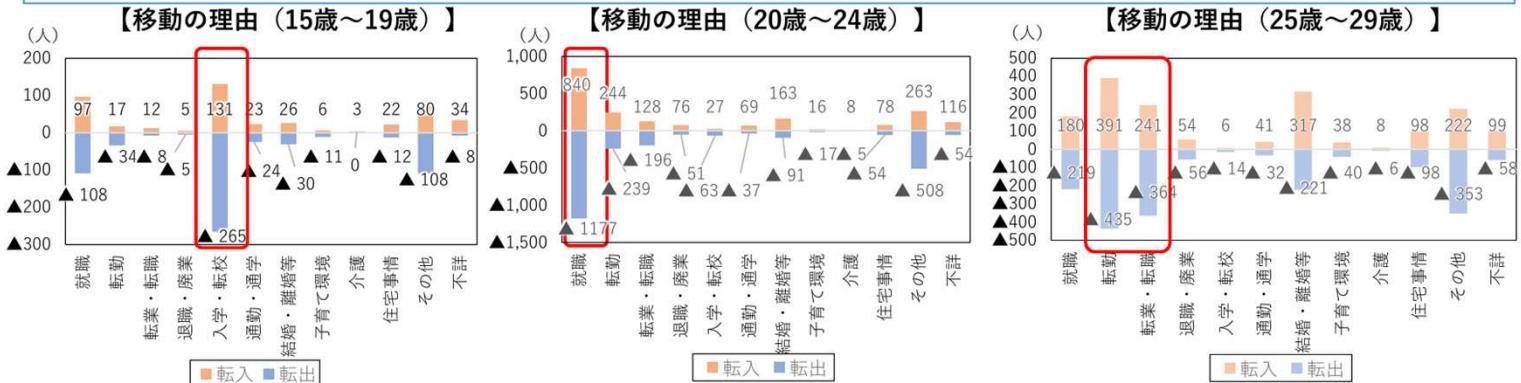
社会動態

- 2022年（令和4年）に男女ともに転出超過が大きく拡大し、2015年（平成27年）以降で最も大きな転出超過となり、2023年（令和5年）も転出超過が続いている。
- 年代別では、15歳～29歳の転出超過が最も大きく、若者の転出超過が大きくなっています。
- 男女別では、特に女性で転出超過が継続しています。



社会動態－転入・転出の要因－

- 転出入の理由を年代別に見ると、15歳～19歳は就学、20～24歳は就職、25～29歳は転勤、転業・転職による転出超過が大きくなっています。
- 高校卒業時に約6割が市外に進学しています。
- 東京圏在住者の20歳代では、地方で働く・暮らすことへの関心が高まっています。



資料：広島県「人口移動統計」（2023年1月～2023年12月）から作成

※広島県「人口移動統計」の月報を福山市で集約したもの。理由別移動者数は任意調査のため、総務省「住民基本台帳移動報告」に基づく福山市の転入数・転出数（日本人のみ/2023年）に合致するよう補正を行い理由別移動者数を推計した。